

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名	群馬県
-------	-----

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	伊勢崎市立宮郷第二小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	6	3	4	3	3	2	2	23	34
児童数	151	110	121	98	89	79	8	656	

研究の概要

1. 研究主題

<p>確かな学力の向上を目指した個に応じた指導方法・指導体制の工夫 少人数指導・教科担任制・校時表の工夫を通して</p>

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

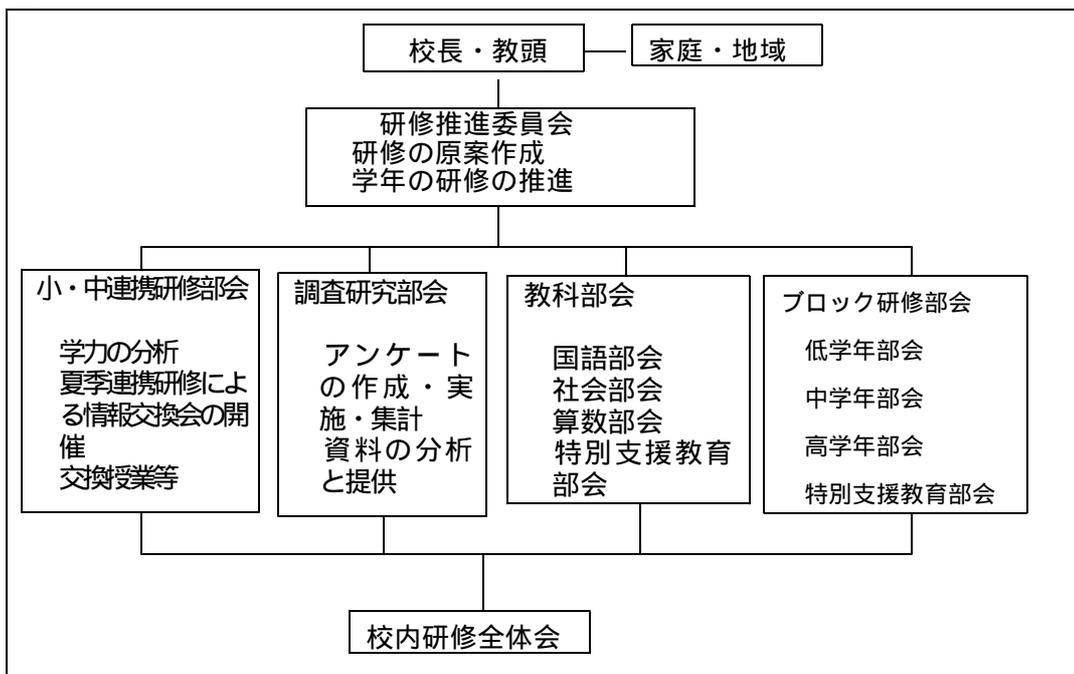
<p>全学年 国語・社会・算数・音楽・図工・体育 ・1年生・2年生 国語(T・T、少人数指導) 児童の理解の状況に差が出やすい教科、学年であるため ・2年生～6年生 算数(T・T、少人数指導) 児童の理解の状況に差が出やすい教科、学年であるため ・3年生・5年生・6年生 社会(教科担任制) 教師の専門性や得意分野を生かすことで、児童の学習のつまずきを早く発見し、指導の手立てを見つけ、きめ細かな指導を行うことができるため ・3年生 音楽(教科担任制) 教師の専門性や得意分野を生かすことで、児童の学習のつまずきを早く発見し、指導の手立てを見つけ、きめ細かな指導を行うことができるため ・2年生・4年生・5年生・6年生 図工(教科担任制) 実施学年・教科の枠を広げ、研究に取り組むため ・1年生・2年生・4年生・5年生・6年生 体育(教科担任制) 実施学年・教科の枠を広げ、研究に取り組むため</p>
--

(2) 年次ごとの計画

平成15年度	<p>テーマ 確かな学力の向上を目指した個に応じた指導方法・指導体制の工夫 少人数指導・教科担任制・校時表の工夫を通して</p> <p>研究の見通し 学習指導において、習熟度別等による少人数指導及び教師の専門性や得意分野を生かした教科担任制指導の導入を図るとともに、校時表を工夫・改善することにより、個に応じたきめ細かな指導が一層充実し、確かな学力を身に付ける児童が育つであろう。</p> <p>研究内容・方法 (1) 個に応じた指導の一層の充実を図るために、習熟度別等による少人数指導及び教師の専門性や得意分野を生かした教科担任制などの指導方法・指導体制のより効果的な在り方を探る。 (2) 授業時間の弾力的な運用として、校時表を工夫し、一部にモジュール制を取り入れることにより、「発展的な学習」・「補充的な学習」など個に応じた指導の一層の充実を図る。 (3) 児童の学習の実現状況を把握し、指導に生かす、指導と評価の一体的な在り方を明らかにする。</p>
--------	---

平成16年度	<p>テーマ 確かな学力の向上をめざした個に応じた指導方法・指導体制の工夫 少人数指導・教科担任制指導・校時表・評価の工夫を通して</p> <p>研究の見通し 習熟度別等による少人数指導及び教師の専門性や得意分野を生かした教科担任制指導の導入を図るとともに、校時表の改善や目標に準拠した評価の在り方を研究することにより、個に応じたきめ細かな指導が一層充実し、確かな学力を身に付ける児童が育つであろう。</p> <p>研究内容・方法</p> <p>(1) 習熟度別等による少人数指導の効果的な指導方法の工夫に重点をおき、個に応じた指導の一層の充実を図る。</p> <p>(2) 教師の専門性や得意分野を生かした教科担任制の指導方法・指導体制の工夫・改善により、児童のつまずき等の学習状況を正確に把握し、個に応じた指導の充実を図る。</p> <p>(3) モジュール制(スキルアップタイム)の効果的な活用による個に応じた「発展的な学習」や「補充的な学習」等の指導の工夫・改善を図る。</p> <p>(4) (1)(2)(3)の学習指導と一体化した評価の工夫・改善 ・学習指導要領に定める目標の実現状況に関する評価の工夫・改善を進めることにより、指導と評価の一体化の一層の充実を図る。 ・児童の学習への興味・関心・意欲等の評価の在り方を工夫・改善する。</p>
--------	---

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

習熟度別等による少人数指導

習熟の程度に応じたコース選択を児童が行い、また単元途中のコース変更も可能としたため、児童は意欲的に学習に取り組むことができた。教師も指導の充実を図るため、児童の個性や学習能力に応じた教材を用意し、児童の学習状況を適切に評価することで、次の指導に生かすことができた。

教科担任制

教師の専門性や得意分野を生かすことで、児童の学習のつまづきを早く発見し、指導の手立てを見つけ、きめ細かな指導を行うことができた。また、教師が学年の児童に関わることで、担任一人では気付きにくい児童の良さや個性を多面的に見取り、学習面・生徒指導面でも共通理解された方針で指導を行うことができた。児童も担任以外の同学年の教師の授業を受けられることから、適度な緊張感と新鮮さをもって授業に臨んでいた。

教科担任制を導入することにより、教材研究の効率化が図られ、創意・工夫した授業を展開することができた。

校時表の工夫

授業時間の弾力的な運用として、校時表を工夫し、一部にモジュール制（スキルアップタイム）を取り入れることにより、補充的な学習を中心とした個に応じたきめ細かな指導の一層の充実を図ることができた。

1コマが15分間という時間設定であることから、1スキルアップタイムに漢字学習や計算学習に集中して取り組むことができた。国語では主に漢字の習得や、語句の指導を行った。漢字練習後にはミニテストを実施し、練習の成果を児童自身が自覚できるように工夫した。算数では、個に応じた指導ができるように一人一人が自分のペースで確実に問題を解けることを重視するとともに、時間を設定して取り組ませ、正解数や正答率などを参考に個々の児童の伸びを認め合えるよう配慮した。特に伊勢崎市作成の漢字・計算基本教材プリントを活用することにより、繰り返しによる補充学習を充実することができた。スキルアップタイムの成果としては、抜き打ちで実施した学期末の漢字・計算コンテストの結果、漢字で平均点が70～96点、計算で平均点が86～97点であった。

目標に準拠した評価による児童の学習の実現状況の把握と指導への活用

目標に準拠した評価に努めることにより、一単位時間の授業の目的を明確にし、児童の学習状況を把握することで個別対応を充実していこうとする教師の意識が高まってきた。また、学ぶ過程で、児童の努力や成果にコメントできる機会が増えることで、より積極的に授業に参加する児童の姿が見られるようになった。

算数では、授業実践に先立って学年間で事前の話し合いをもち、児童の学習の姿を想起し、教材作成や見取りの観点を決めるとともに、授業中は見取ったことを具体的に記録し、授業後の話し合いで、教師の事前の予想と実際の児童の学習活動の相違点を検討し、見取り方について共通理解することで、より客観性・信頼性のある評価の工夫を進めることができた。

2. 今後の課題

本年度、確かな学力の向上を目指した個に応じた指導方法・指導体制の工夫として、少人数指導・教科担任制・校時表・目標に準拠した評価の在り方の工夫を中心に研究を進めてきた。今後、更に、児童の学習意欲を高め、よりよく問題を解決する資質や能力を身に付けるために、次年度は次のような研究に取り組みたいと考える。

児童をひきつける、より魅力ある個に応じた教材の開発

児童に発言の機会をより多く与え、知恵を出し合い、練りあげの場を設定した授業の展開の工夫

教科担任制を取り入れる教科や週時程表の検討

スキルアップタイムの指導内容の工夫

指導と評価の一体化の一層の充実

児童の学習への興味・関心・意欲等の評価の在り方の開発・改善

学力等把握のための学校としての取組

定期的なN R T学力検査の実施	
調査の目的	児童の学力の実態を客観的に把握し、指導に生かす。
実施教科	国語・算数
時期	4月下旬
C R T学力検査の実施	
調査の目的	目標に準拠した児童の学力の実態を客観的に把握し指導に生かす
実施教科	算数
時期	1月下旬
アンケートによる児童への意識調査	
調査の目的	「興味・関心・意欲・態度」等に関する実態を把握し指導に生かす
時期	1 2月

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

平成15年度	
日時	平成16年1月31日
場所	プラザアリア
対象	伊勢崎市経営研究会会員（市内各校管理職・教職員）
目的	フロンティアスクールとしての中間発表を行い、市内の各学校への啓発を図る
日時	平成16年3月
対象	中部管内の小学校
目的	中間報告冊子「宮郷地区学力向上フロンティア推進事業のまとめ」を作成・配布し、研究成果の普及を図る
平成16年度	
日時	平成16年11月中旬
場所	本校
対象	市内小中学校教職員及び県内外の教職員
目的	フロンティアスクールとしての研究発表会を行い、市内の各学校への啓発を図る
日時	平成16年11月中旬
対象	中部管内の小学校
目的	中間報告冊子「宮郷地区学力向上フロンティア推進事業のまとめ」を作成・配布し、研究成果の普及を図る

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

- 【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校
- 【学校規模】 6学級以下 7～12学級
 13～18学級 19～24学級
 25学級以上
- 【指導体制】 少人数指導 T・Tによる指導
 一部教科担任制 その他
- 【研究教科】 国語 社会 算数 理科
 生活 音楽 図画工作 家庭
 体育 その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無